



ユーフォビアン の 響き Sxtet

Euphobian will resound.





Euphobian will resound.

ハッピー
アイスクリーム

「さえざるセレナーデ」

ん〜
最近このゲームで
アイスばかり
食べてるようなく

私が沢山
負けてる気がする

まあ、
それだけ
気が合うと
いうことかな♪

京都府立
北宇治高



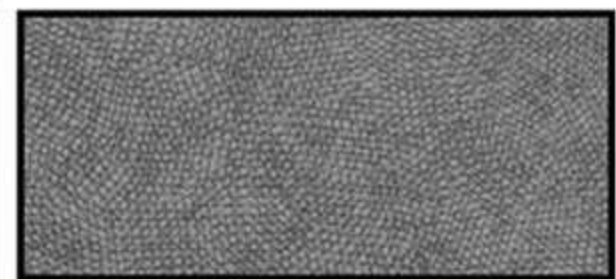


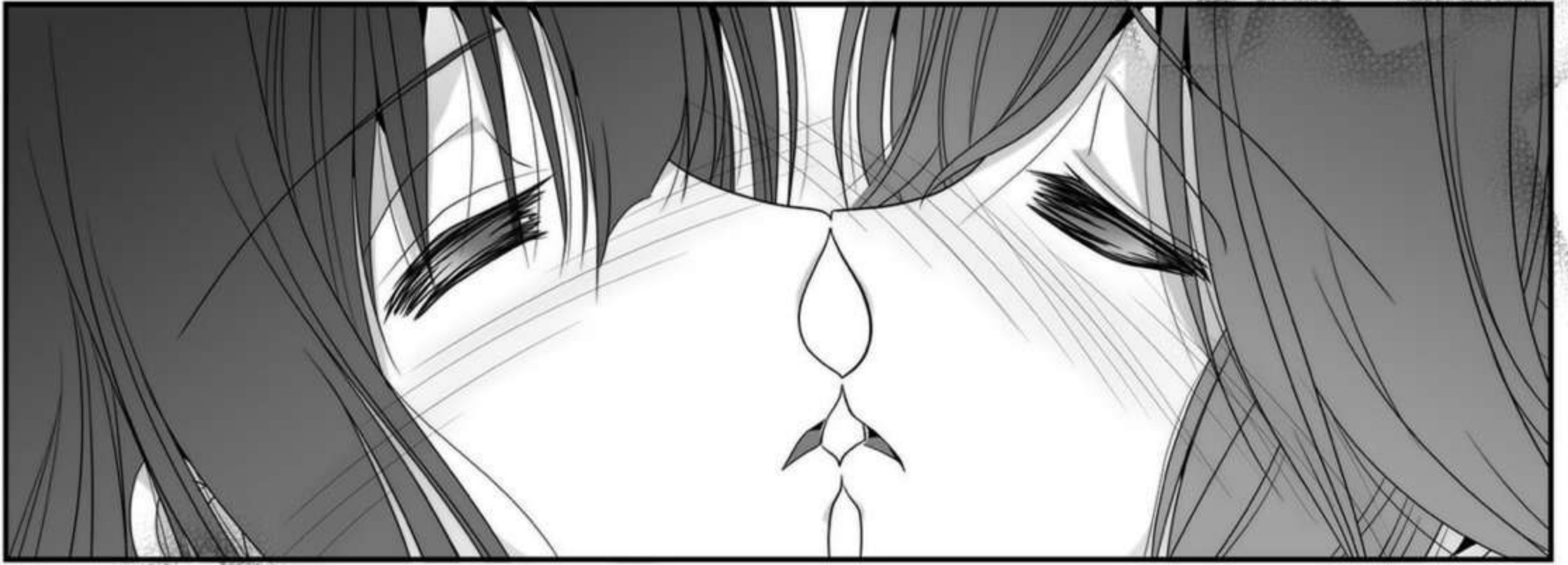
「みぞれを食べたい
とかじゃだめ？」



なんて〜











これは愛の形



愛かくな
しかたないかな

大好き
のハゲ
ある？

うん
しかたない
ある。



みぞれの唇が好き

希美のキスが好き

みぞれの白い肌が好き

希美のうなじが好き

みぞれの指が好き

希美の柔らかい肌が好き





希美のぬくもりが好き

みぞれのひんやりした
身体が好き

フッ

希美の味が好き

みぞれの吐息が好き

ああ、
めんどくさいなあ
もう、
みぞれの全部が
好きだよ

私も希美の
全てが好き

そっか
私たち
相思相愛
だったんだね

うん

好き
好き



ハッピー
アイスクリーム

ハイハイ
なにが
欲しいの？

希美

いま
あげてる

そう言えばさ
前に読んだ小説に
こんなことが
書いてあったんだけど
「アイスクリーム」を
「アイ・スクリーム」と区切って
「私は・叫ぶ」って翻訳するの

私は叫ぶ？

それで、
いま思いついたのは
「アイ」は
「私」じゃなくて
「愛」でも
いいなって
いまの私は
愛を叫んでるしね

「愛」…

うん、私も
愛を叫びたい

いいよ
叫んでも
聞かせてよ
みぞれ





いっばい
叫んじゃったね...

うん
叫んだ



あああああゝ

なんだか
雰囲気飲まれて
私の初めてを
全部みぞれに
あげちゃったよゝ

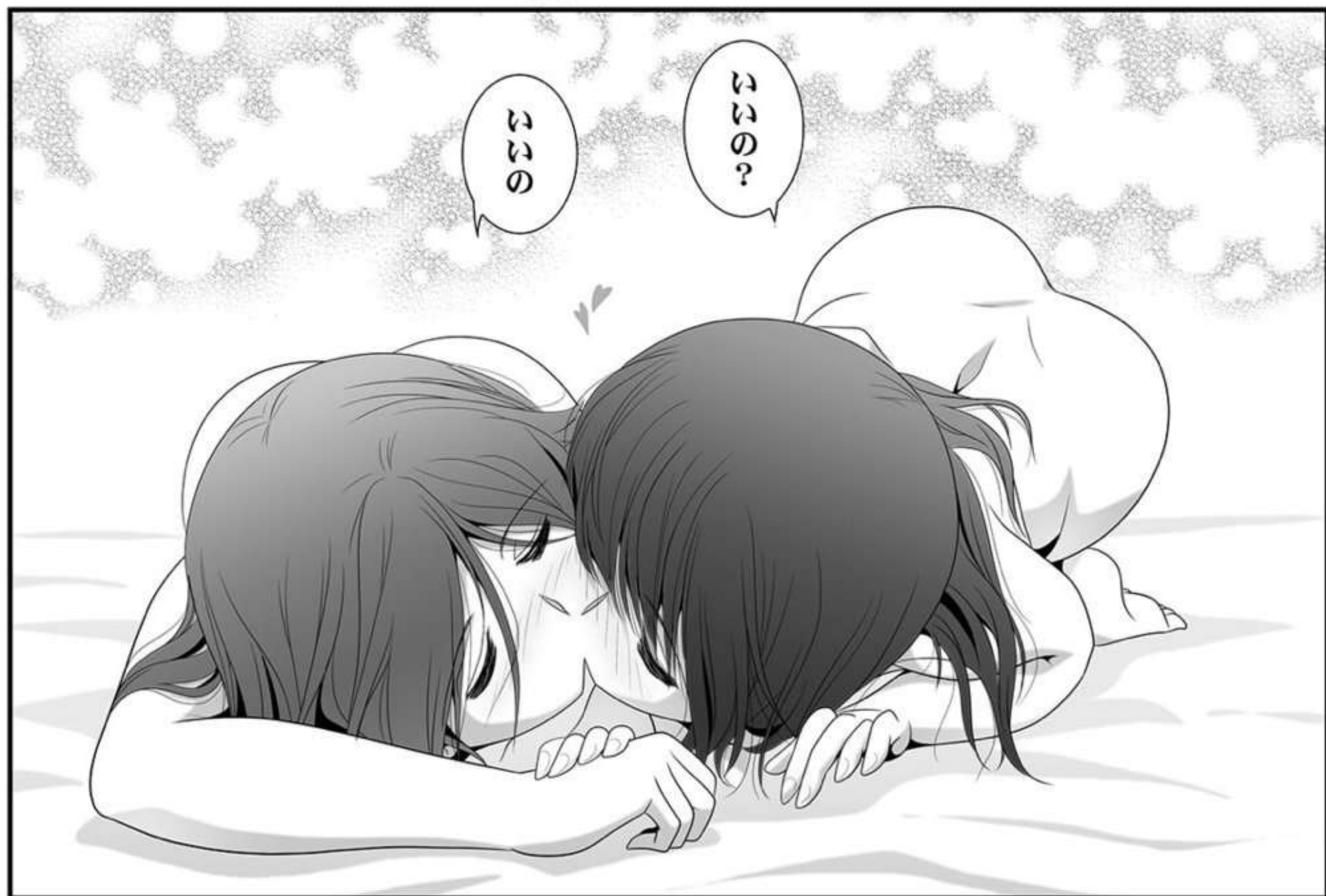
…ごめんなさい



でも
私はすごく
嬉しかった
ありがとう



クソッ
今度は
疑問系じゃないね
やっぱりみぞれは
変わった



幸せと愛を叫ぶ

Fin



私の名前は
中世古香織です
この人は
田中あすかと
います

私は北宇治高校を
卒業してから
看護学校に入り
あすかは
大学に通っています

そして
私達はいま
二人で暮らしています



お互いの学校が
近かったことから
私から
ルームシェアする
ことを提案
自分でも大胆な
提案をしたと
思うけど
あすかは快く承諾
してくれました

いやいや
快くは承諾して
ないし



勝手に心を
読まないでよ

声が
漏れてたけど
あんたは
善前ちゃんか

本当は家を出て
一人暮らしを
したかったん
だけどね

香織は
家事や料理が
得意だから
楽できるかな
という打算よ



ハイハイ
まるであすかは
私の「ヒモ」だね

そうだよ
私はヒモですよ

運命の
赤いヒモです

できれば
「糸」にして
欲しいんだけど

糸だとすぐ
切れちゃうからね

ヒモのほうが
丈夫でいいでしょ

ハイハイ

×
十
十



マウスだけじゃ物足りないでしょ吹けば

もう夜遅いし近所迷惑でしょ



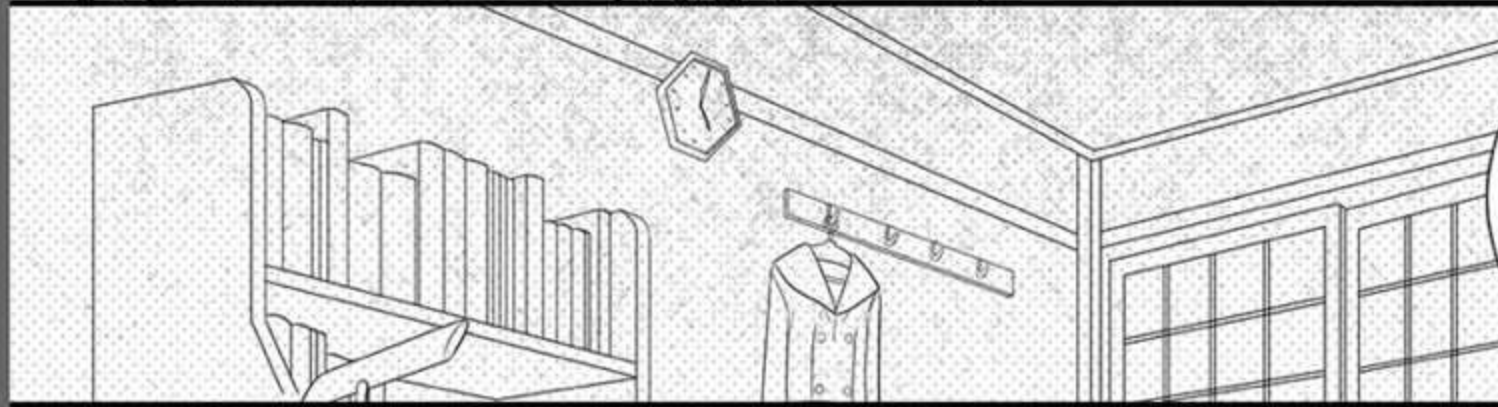
.....
最近あすかはユーフォを吹かないよねあんなに好きだったのにどうして？



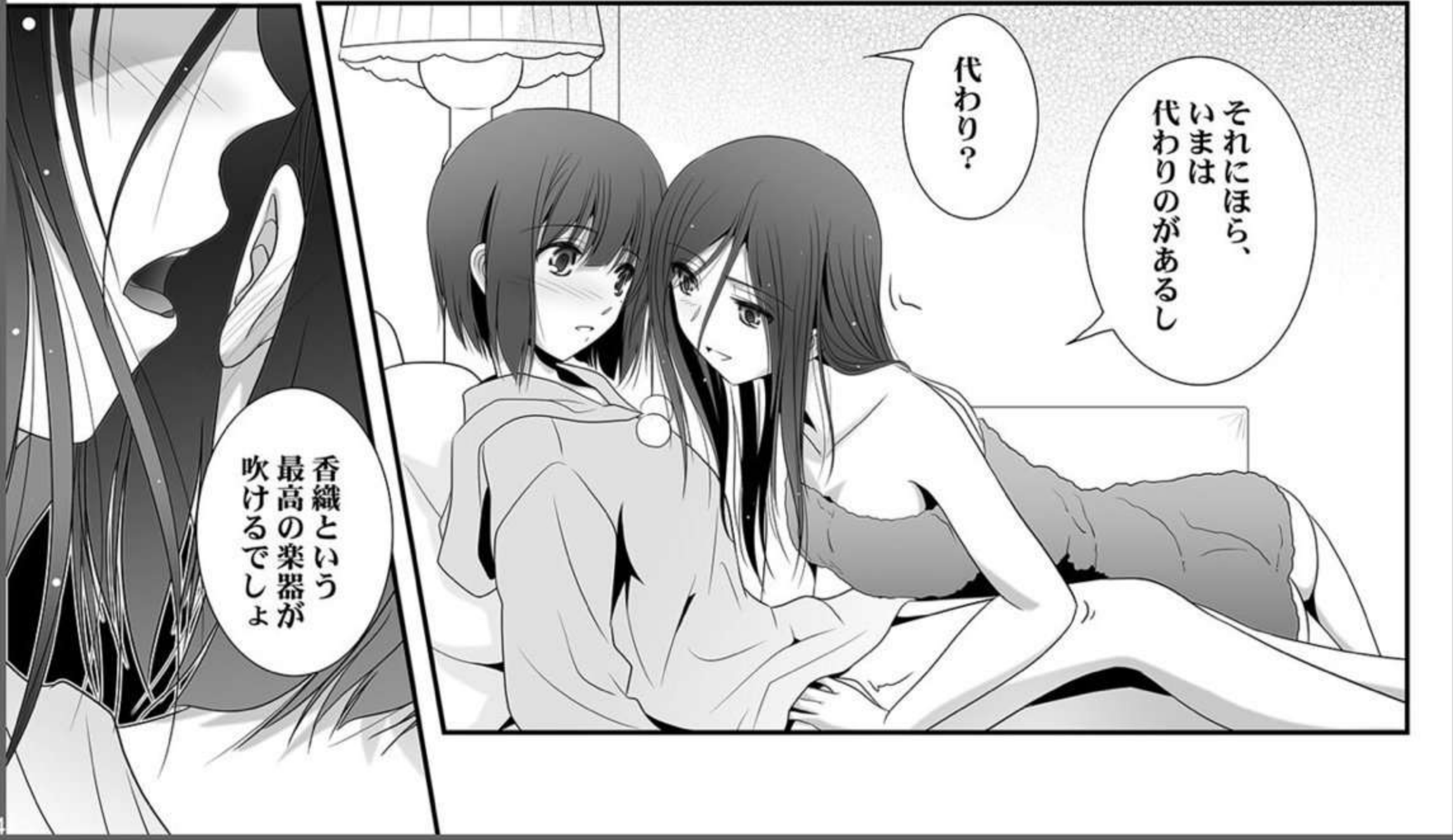
前ほど吹きたいとは思わないからね



ん？
んん？
吹かないってわけじゃないけど



あの家に居た頃はユーフォが私の居場所だったけどいまは違うからかなあ



それにほら、いまは代わりのがあるし

代わり？

香織という最高の楽器が吹けるでしょ



今夜も
いい音色を
響かせてみようかな

私だって
あすかを
演奏するのが
上手くなったと
思うよ

なら今夜最初の
音の出だしは
私からねえ



いまさらだけどさ
香織は
私なんかの
どこがいいの？

私が自分勝手に
エゴイストな
人間だって
知ってるくせに

そういうところも
好きだからかな

悪趣味だね
でもきつと
天使の香織には
哀れな子羊である私を
ほっとけないんだね

私は
天使なんかじゃないよ
あすかを愛してるだけの
ただの「あすか派」

あすか
あすか
あすか

あすか
あすか
あすか



有りですか？

おっ！

おっ、いや
おっ、いや

私なんか
ただなんでも
器用にできるだけ

それが他の人には
特別に見えて
私を特別扱いする

人間としては
こんなに
ダメ人間なのにね

イイとかダメとか
そんなの関係ない

ただ私があすかを
愛してるだけ
そこに打算なんて
なにもないよ



「優秀な女ほど
愚かな相手を愛する」
だね

人生損するタイプ
なんじゃない
香織は

あすかに
出会えたことで
私の人生は充分に
得をしているから
いいんだよ

いんた

あすかに



そんなこと言っても
責任は取らないよ

いいよ
私があすかに
付きまとう
だけだから

うわ!
怖いんだ
なに
香織は私の
ストーカーか

それくらい
強気じゃないと
あすかの側には
居られないから

まあ、いいよ
私は勝手に行くけど
香織も勝手に
付いてきてくれれば

うん
好きにさせてもらう
私はあすかを
離さないからね

勝手には行くけど
逃げたりしないよ
いまはここが
私の居場所だから

さつきも言ったでしょ
いまの私は
香織のヒモだって

香織は私の
エンジェルだから

優子ちゃんみたいなの
言い方しないで
恥ずかしいから

恥ずかしいの？
なら言っちゃう
私のエンジェル♥

意地悪



それじゃ
そろそろ今夜最後の
セッションしようか♥

↑↑↑



今夜も
いいデュエット
でした



デュエットでしょ
あすかのエッチく



どうする
アンコールする？

する



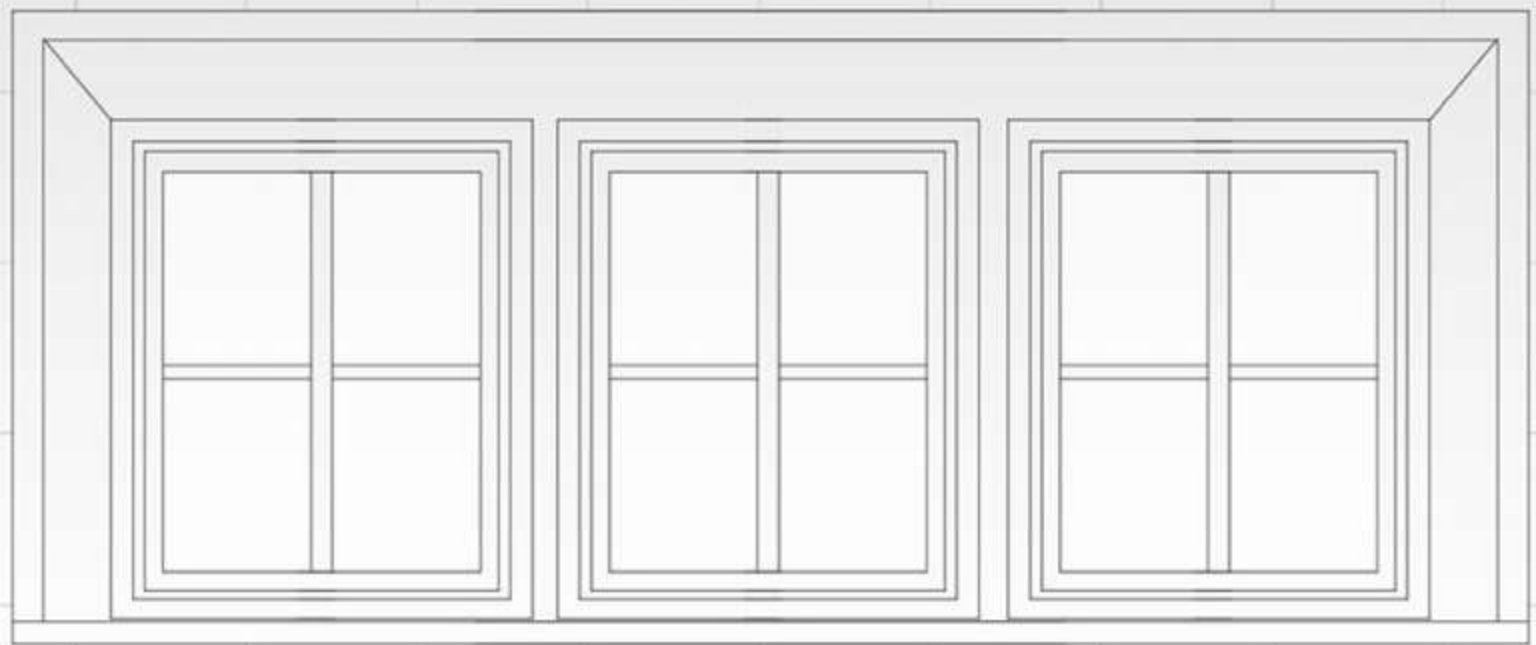
なんならさ
ヒモじゃなくて
ロープで縛ってみる？

そういうのは
イヤ

でも
靴ヒモなら
いつでも
結んであげるから

あくフフツ
香織は
あなどれないな

あすか派だからね



{ 結ぶドルチェ }

Fin

{背徳のアルト}







タイトル：ユーフォビアン の響き：Extet
初版：2018年12月30日(コミックマーケット95)
電子書籍版：2021年4月
発行サークル：美術部
執筆：しづきみちる
E-mail：cam84600@pop07.odn.ne.jp
pixiv：<https://www.pixiv.net/users/389660>
Twitter ID：michirushiduki



Euphobian will resound.

